

各位



2023年11月10日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：取締役 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想並びに配当予想につきまして、下記のとおり修正することをお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期の通期連結業績予想数値の修正

(1) 修正の内容

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	20,200	2,000	2,000	1,250	133.88
今回発表予想	19,500	2,200	2,220	1,300	139.21
増減額	△700	200	220	50	
増減率	△3.5%	10.0%	11.0%	4.0%	
前期実績	20,004	1,724	1,844	1,212	135.11

(2) 修正の理由

第2四半期連結累計期間において、IT インフラ関連事業につきましては、主要商材であるMFP（複合機）とネットワーク機器、ビジネスフォン等が好調に推移したことで、売上高及び売上総利益が増加いたしました。また、2023年10月開始のインボイス制度の影響により、MFP等主要商材において、10月以降納品案件の9月へ前倒し納品が一部発生したことも増加に寄与しております。

一方、電力小売りにおきましては第1四半期より、夏場の電力需要増加に伴う燃料費調整の高騰を見据え、電力調達コストの増加並びに、価格転嫁による電力売上の増

加を見通しておりましたが、当期は猛暑にも関わらず、発電事業者等における燃料調達価格の落ち着きなどにより、結果的に電力調達コストが想定外に下がり原価圧縮に寄与したことで、価格転嫁幅が下がり、電力売上高は予想に対して大幅に下回りました。なお、前述のとおり、電力調達コストの下落により大幅に原価圧縮したため、電力における売上総利益は予想以上に増加いたしました。

これにより、電力小売りの価格想定を引き下げたことにより、通期の売上高は減少する見通しといたしました。

また、前述のインボイス制度の影響による需要前倒しの影響を下期に見込むこととなりますが、通期では連結業績における営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全利益段階において当初予想を増加する見通しの為、当初の業績予想の上方修正を行うことといたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 2024年3月期 (2023年5月12日公表)		21.00	0.00	26.00	47.00
今回修正予想 2024年3月期			0.00	28.00	49.00
当期実績 2024年3月期	0.00	21.00			
前期実績 2023年3月期	0.00	5.00	0.00	36.00	41.00

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様への利益還元重視の姿勢を明確にするとともに、株主層の拡大を図る為、連結ベースの配当性向35%を目処に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

上記1に記載のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益に関する予想を修正することに伴い、配当方針に沿った配当予想に修正するものであります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上